

西田まこと

2016年
第1号

発行日:2016年3月14日
発行元:「西田まことを励ます会」
埼玉県さいたま市浦和区
高砂3-7-4-2階

励ます会ニュース

西田まことは、公明党の参議院幹事長として、自公連立政権のかじ取りを担ってきました。これまで、5000社以上の中小・小規模企業を訪問。214回も国会質問に立ち、生活現場の悩みを解決する、数々の実績を残しています。

経済再生のキーマン 西田まこと

参議院議員 公明党参議院幹事長、同埼玉県本部代表



スマホをかざすと動き出す!



西田まこと

検索

プロフィール◆参議院議員2期(埼玉選挙区)。公明党参議院幹事長、同埼玉県本部代表、同税制調査会事務局長。1962年(昭和37年)生まれ。53歳。慶應義塾高校、慶應義塾大学経済学部卒。「週刊 東洋経済」の副編集長として活躍した。埼玉県所沢市在住。家族は父、妻、息子、娘と愛犬(ロングチワワ)。

政治は実現力です。

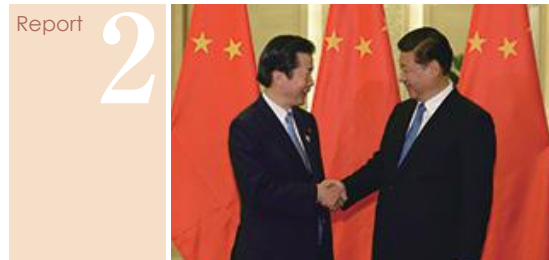
現場から政治を動かす「実現力」

Nishida Makoto Report



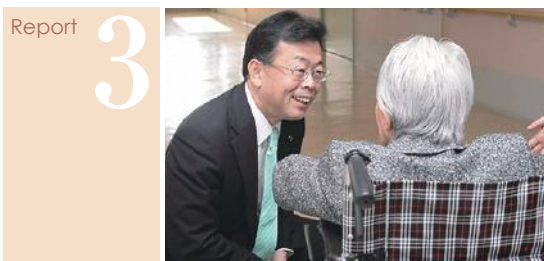
税の痛み和らげ 経済を下支え 暮らしを守る「軽減税率」を実現

党税制調査会事務局長を務める西田は、消費税の痛みを和らげ、庶民の暮らしを守るため、いち早く「軽減税率」の導入を提案し、議論をリード。対象品目を飲食料品全般に広げました。軽減税率は、多くの国が採用している世界標準の税制です。消費の落ち込みを防ぎ、日本経済を支えるためにも、必要不可欠な制度です。



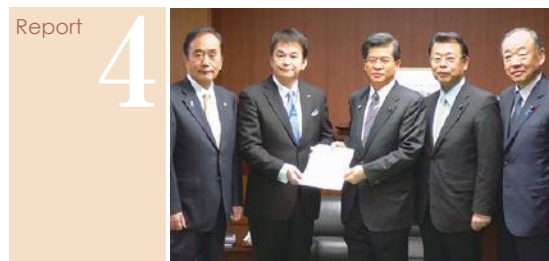
中国を訪れ、要人に直談判 日中関係改善の突破口を開く

中国語が堪能で、経済誌記者時代から中国経済に精通していた、国会議員きっての中国通。昨年秋には、山口代表の中国訪問に同行し、対話、交流を深めるとともに、要人に日中関係改善の必要性を直談判。その後の日中首脳会談の開催に道筋を付け、日中関係改善の突破口を開きました。



消費喚起へ低年金高齢者に 3万円の給付金

経済再生に欠かせないのが個人消費の回復。それには所得のアップが不可欠です。ただ、年金受給者は、アベノミクスの成果による賃上げの恩恵が受けにくいのが実情。そこで、西田が成立を推進した2015年度補正予算で、65歳以上の低年金受給者（住民税非課税世帯）などを対象に、臨時給付金（1人3万円）を支給することになりました。



首都高・埼玉大宮線8kmを整備し渋滞を緩和

新大宮バイパスの慢性的な渋滞の緩和は、多くの埼玉県民の悲願です。西田は、首都高速・埼玉大宮線の圏央道への延伸を強く主張。それが実を結び、政府は特に渋滞が激しい与野JCTから上尾南IC区間（約8km）を優先して整備することを固めました。西田は、さらに上尾南ICから圏央道までの約7km区間の延伸にも全力で取り組みます。